

伊豆の国市立大仁北小学校 ジオ学習 ～地学分野の学習に面白味を～

(文責 伊豆の国市立大仁北小学校 駒坂 俊夫)

伊豆半島ジオパーク推進協議会協力のもと、伊豆の国市立大仁北小学校は 11 月 26 日 (木) にジオ学習出前授業を実施しました。

ジオ学習に取り組んだきっかけは、6 年生の地学分野の学習に課題を感じていたからです。地球の大地は、何万年もの長い年月をかけてできたものであり、でき方や仕組みを教えても、なかなか実感を得ることが難しい分野です。また、他の分野と比べて実験などが少なく、面白味を感じることも少ないことも課題でした。そこで、ジオパーク推進協議会にご協力をいただき授業を構想しました。

伊豆半島が海底火山からできていることから、火山の仕組みや影響などの学習を多く取り入れ、出前授業の中で水槽火山実験やゼラチン岩脈実験などを見せていただきました。自然現象の原理を教わり、それを目の前で見たことで、子どもたちの理解が深まったようでした。また、学区内で柱状節理や地層が見られる場所を教えていただき、見学に出かけ、その土の成分を調べたり、柱状節理について詳しく調べたりしました。それらが、伊豆半島がもともとは火山であった痕跡を自分たちで発見する学習となり、自分たちの住む地域への理解や興味につながっていきました。子どもたちにとって、大地や地域への理解が深まる有意義な学習となりました。

また、来年度開催される静岡県教育研究会地学分野で、身近なジオサイトなど地域教材を活用した授業について、駒坂先生が発表されます。



すし酢噴火実験の様子



水槽噴火実験の様子

伊豆市立土肥小中一貫校 初めてのジオ ～土肥周辺のジオサイト～

(文責 伊豆市立土肥小中一貫校 菅尾 智也)

伊豆半島ジオパーク推進協議会の協力のもと、伊豆市立土肥小中一貫校の 5 年生は、12 月 10 日 (木) に出前授業、1 月 13 日 (水) に堂ヶ島周辺と土肥金山でのフィールドワークを実施しました。

5 年生は、本年度より、総合的な学習の時間 (とびうお学習) で、ジオパーク学習を始めました。これまで、自分たちが住む伊豆半島の大地について考えたことがなかった子どもたち。当然、伊豆半島は姿形を変えずに遙か昔からこの地に存在し続けていると思っています。学習を進めていく中

で、伊豆半島が南の方から移動してきたことを知り、「伊豆半島が南の方からやってきたってどういうこと?」、「どうやって移動するの?」など、子どもたちの中で課題が生み出されていきました。そこで、課題を解決するためにジオガイドの派遣をお願いし、出前授業を行っていただきました。火山の様子を再現したコーラ実験や伊豆半島の成り立ちについての動画の視聴に加え、ジオガイドの方の豊富な知識が子どもたちの課題の解決に役立ちました。フィールドワークでは、「伊豆半島が本当に南の方からやってきた、火山の贈りものなのか」について、その証拠を自分の目で確認しました。砂浜の砂や崖に磁石をくっつけて実験したり、地層に違いがあることを確認したりするなど、あちらこちらに眠る証拠を目の当たりにし、子どもたちは納得の表情を浮かべていました。

ジオ学習を通じて、子どもたちの大地を見る目が変わったのは明らかです。自分たちが住む大地の歴史の奥深さを実感し、感動したと思います。この感動を味わう機会を与えていただいた推進協議会の皆様やジオガイドの方に感謝申し上げます。



ジオ学習実施に向けて ～来年度への準備～

伊豆半島ジオパーク推進協議会では、ジオパークに関するパンフレットや資料等をご用意しております。小中学生のためのジオ学習、マンガで分かる「伊豆半島のひみつ」、伊豆ジオマップなどがあります。ジオ学習実施に向けて参考としてくだされば幸いです。

また、昨年8月には田方地区理科教諭向け研修を実施しました。このように教職員向けの研修も実施しておりますのでお気軽にお声掛けください。少しでも不明な点がありましたら、伊豆半島ジオパーク推進協議会までお問い合わせください。



《編集後記》

あけましておめでとうございます！昨年は大変お世話になりました。寒さ厳しき折、いかがお過ごしでしょうか。昨年は新型コロナウイルスにより我慢の1年となり、児童・生徒さんたちは様々な行事が中止、規模縮小での開催を余儀なくされたと思います。これからも新型コロナウイルス感染対策をしっかりと講じ、うまく付き合いながら楽しい1年となるよう頑張っていきたいと思います。今年もどうぞよろしくお願いたします。

(事務局 早川)